

◎ 理科部門（小）

1 行事及び内容

(1) 研究委員会

ア 第1回 6月4日（金）

・本年度事業計画

（小学校理科実験講習会 県小学校理科教育研究大会天草大会
科学展・発明工夫展審査会 科学展・発明工夫展）

イ 第2回 12月13日（月）

・小学校理科部門別研修会（県小学校理科教育研究大会天草大会講演会）計画

ウ 第3回 2月8日（火）（中止）

・年間活動反省 ・来年度の方向性

(2) 理科実験講習会準備委員会（研究委員会及び協力者会）

ア 第1回 4月21日（水） 亀川小学校

・方針及び日程説明、単元配当、講師決定

イ 第2回 7月30日（金） 亀川小学校

・テキスト内容検討、実施実験決定

ウ 第3回 8月20日（木） 亀川小学校

・テキスト製本

(3) 理科実験講習会 8月23日（金） 亀川小学校（理科室）

※新型コロナウイルス感染症対策のため開催中止（参加予定の先生方にテキスト配付）

(4) 天草郡市科学展・発明工夫点審査会 10月12日（火） 天草教育会館

・県出品作品14点・郡市優秀賞21点・発明工夫展5点を決定

(5) 第81回熊本県科学研究物展示会・第56回熊本県発明工夫展出品 10月26日（火）

科学展 小中あわせて優賞7点 良賞7点 出品

【受賞】 熊本博物館賞 小学校1点 熊日ジュニア科学賞 小学校1点

発明工夫展 小中あわせて5点 出品

(6) 県小学校理科教育研究大会天草大会 1月28日（金） 亀川小学校

【大会主題】 未来を生き抜く力を育む理科学習の創造

【副主題】 ～理科の見方・考え方を働かせながら

科学的に問題を解決する授業を目指して～

※新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から誌上発表に変更

(5) 小学校理科部門別研修会 1月28日（金） 天草市民センター大ホール

・県小学校理科教育研究大会天草大会の代替として講演会を計画

鳴川哲也文科省教科調査官の講演

※新型コロナウイルス感染症のリスクレベルが上がり感染防止の観点から中止

2 本年度の反省と来年度の志向

- (1) 理科実験講習会についてはテキスト作成することができ参加予定の先生方に配付することができた。編集に携わる協力員の先生の数が減ってきたため収録する内容も厳選し編集の負担を減らして作成した。今後も内容を精査しながら、天草の先生方の一助となる実験講習会にするため、テキスト編集と講習会実施の工夫に取り組んでいきたい。
- (2) 本年度の理科部門の事業の中で科学展審査のみ実施できた。今年度の科学研究物への小学生の取組数は、2500点ほどであった。去年は夏休みの短縮等もあり、自由研究を課題とした学校も減ったことで取組が減少していたが、今年度は取組数も例年通りとなり、各学校の先生方が作品の指導に頑張られたことがうかがえる審査会となった。県科学展では熊本博物館賞1点、熊日ジュニア科学賞1点を受賞することができた。来年度はさらに取組を拡大、深化させて県科学展でも活躍できるよう啓発していきたい。
- (3) 県小学校理科教育研究大会天草大会については、研究を進めるための研究会の開催や研究紀要作成のための会議の開催の時期が夏場からの新型コロナウイルス感染症の第5波と重なり、やむなく開催を中止することとなった。第5波が落ち着いてきた11月後半から12月にかけて、各学年部の授業研究会をそれぞれの学年部の協力員の先生方のみの参加で行い、研究紀要の作成につなげた。

オンラインでの開催も検討したが、天草の研究を伝えるに十分な映像技術と人材不足のため断念した。ただ、鳴川哲也文部科学省教科調査官の講演は部門別研修会の中で実施するように進めてきた。しかし、部門別研修会も第6波の影響により開催を断念せざるを得なくなった。非常に残念な結果となった。